

# 千葉県営水道事業長期施設整備方針 概要版

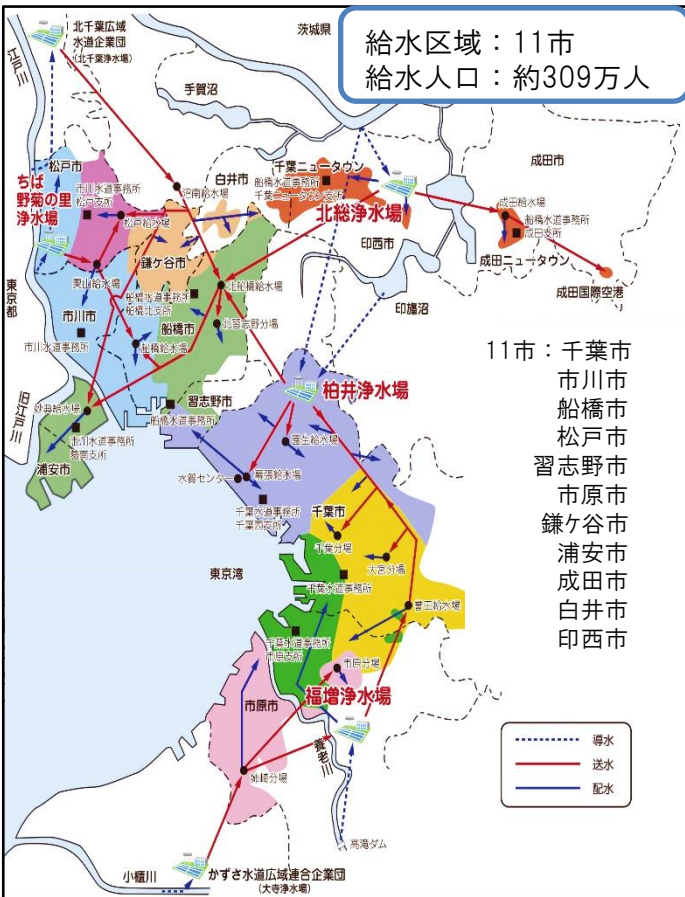
～次世代につなぐ 安全・安心な水道を目指して～ (令和8年5月改訂)

## 1 長期施設整備方針の目的と位置づけ

- 目的** 将来にわたり安全な水道水をお客様に安定して供給するため、県営水道の長期的な施設整備の基本的な考え方を定め、この考え方にに基づき浄・給水場等や管路の更新・耐震化等を実施します。
- 対象期間** 30年間（令和8～37年度）
- 事業実施** 本方針に基づく具体的事業は、中期経営計画に反映させて実施していきます。

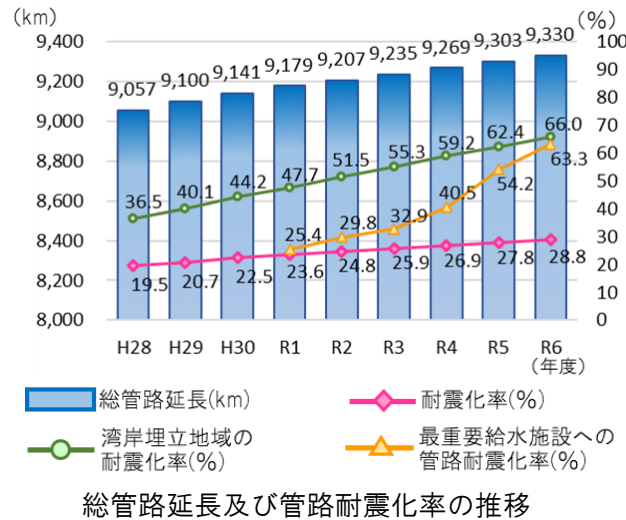
## 2 県営水道の現状と課題

### 1 県営水道の概要(令和6年度末)



### 2 県営水道の現状と課題

- 県営水道の浄・給水場等や管路は、高度経済成長期以降に集中的に建設されており、適切な維持管理による長寿命化や計画的な施設の更新・整備が必要です。
- 近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備えて、水道施設の耐震化を進めるとともに、頻発化・激甚化する自然災害に備えて、停電・浸水対策等の危機管理対策に取り組む必要があります。



### 2 目標使用年数

水道施設の詳細な老朽度調査結果等を踏まえ、更新の目安となる目標使用年数を定め、この年数を超過しないことを基本に、計画的に更新していきます。

- 浄・給水場等
  - ✓ 土木・建築・鋼構造物：100年
  - ✓ 電気・機械・計装設備：15～30年（対象設備により異なります。）
- 管 路：60～90年（材質、口径、埋設環境により異なります。）

※記載の年数は、定期的な点検、補修等を前提とした年数であり、今後も詳細な老朽度調査等を踏まえ目標使用年数の検討を行います。

### 3 必要施設能力

将来の需要量を踏まえつつ、災害や事故発生時及び施設の修繕や更新時にも対応するため、現在確保している施設能力を当面維持していきます。

1,276,800m<sup>3</sup>/日

※適宜見直しを行い、適正規模について十分配慮しながら整備を行います。

## 4 具体的な実現方策

### 1 計画的な維持管理・更新

- 長寿命化
  - 計画的更新
- ・詳細な老朽度調査等による適切な状態把握、修繕
  - ・老朽度や重要度等、施設の実情を踏まえ計画的に更新
  - ・更新需要の増加に備え、今までより更新ペースをアップ

### 2 危機管理対策

- 地震対策
  - 停電・浸水対策
- ・急所施設である取水施設や浄水施設等について、被災時の影響が大きい浄水施設等を優先して耐震化を実施
  - ・湾岸埋立地域の管路や最重要給水施設につながる管路の耐震化を引き続き目標使用年数に捉われず優先的に推進
  - ・浄・給水場等における停電・浸水対策の推進

### 3 業務の効率化

- デジタル技術の活用等
  - 官民連携の研究
- ・ドローンやウェアラブルカメラを活用した点検の効率化等
  - ・デザインビルド等による工期短縮効果などの研究

### 4 環境負荷の低減

- 省エネ機器、再エネ設備の導入等
- ・更新に合わせて高効率機器や太陽光発電設備等の導入を推進

## 3 長期施設整備方針の基本条件

### 1 対象施設

県営水道の全ての浄・給水場等及び管路を対象施設とします。

(1) 浄・給水場等

(2) 管路

対象施設	施設数	主な施設名	対象施設	路線数	延長	主な路線名
取水場	4	印旛,木下,高滝,矢切	<導水管>	6	72km	木下～柏井等
浄水場	4	柏井(西,東),北総,福増,ちば野菊の里	<大口径送配水管φ500以上>	—	609km	—
給水場	10	栗山,園生,船橋,誉田,成田等	高級铸铁管使用	26	104km	一抔栗山～船高線等
分場	5	千葉,市原,大宮,姉崎,北習志野	上記以外	—	505km	—
高架水槽	12	船橋,坂月,東寺山,辰巳等	<小中口径配水管φ450以下>	—	—	—
調圧水槽	12	柏井系,北総系等	ダクタイル铸铁管等	—	8,649km	—
計	47	—	計	—	9,330km	令和6年度末現在

## 5 長期施設整備方針の主な達成目標

	令和6年度末実績	目標
自家発電設備の整備率（3日間(72時間)対応）	45%	R10 100%
取水施設の耐震化率	37%	R27 100%
浄水施設の耐震化率	42%	R27 100%
管路の耐震化率（湾岸埋立地域）	66%	R22 100%
小中口径管路の耐震化率（最重要給水施設）	63%	R12 100%